26年度

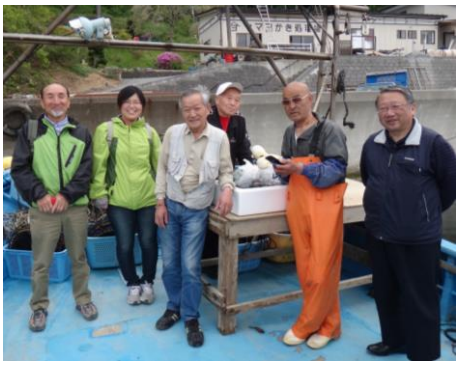
被災地支援トピックスー2

NO2-1

5月10日　学習支援活動打合せ

秋田大学、秋田県立大学、国際教養大の３大学生との学習支援や理科実験等の打ち合わせをパドラーズと行い、各企画は大学生が実施するという考え方でスタートしました。

5月12日　気仙沼漁業関係者などの方々との事業打ち合わせと下見



大島のカキ養殖のヤマヨ水産から協力得て、子供たちが喜ぶ学習支援の企画のメニューに入れていただくことになりました。作業船の大きさにはびっくりしました。

ヤマヨ水産の小松さんからはこの工場の屋根まで津波が来たことを教えてもらいました。

カキ工場の海には震災前と同じように、カキ筏が浮かんでいるのが確認できました。
ようやく収穫を迎え全国に出荷していました。

多くのボランティアが筏固定の「土のう作り」お手伝いをしてくれて、早く復旧できたようです。

26年度被災地支援トピックス－２

NO2-2

5月12日　気仙沼漁業関係者などの方々との事業打ち合わせと下見－2

同行したNPO法人北上川サポート協会の今野事務局長さんと事務の菅原さんが漁港岸壁の状態を視察しています。岸壁は一部工事中で人間カーリングの会場として間に合うかなどじっくり下見しています。

右の写真はモンドセレクション金賞の佃煮やさんです。さんまは「激旨」です。

仮設店舗（団平食堂）は秋田出身の方がオーナーで鹿折地区の小学校の参加協力を依頼してきました。

大島の学習支援の海水浴場です。
（子供たちが初めて泳ぐ場所です）

亀山の山頂です。
（夜空の星観察の会場）

夜の交流スペースです。
（眼下には小田ヶ浜が一望できます）

学習支援会場予定の椿荘です。海水浴場や星観察、交流スペースや人間カーリング会場にも近いので、大変いい環境でした。気仙沼から大島まではフェリーで移動します。実際乗ってみると快適で、そんなに揺れなく、時間も３０分もかからないので子供達も楽しめそうです。